

安全に関する改善事例

記入日: 2005年 10月 1日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

| ダム名 | 所在地県名 | 発注者 | 型式 | ダム諸元 | | |
|---------|-------------|------------|------------|---------|---------|----------|
| | | | | 堤高(m) | 堤頂長(m) | 堤体積(千m3) |
| 長井ダム | 山形県 | 国土交通省 | G | 125.5 | 381 | 1200 |
| 設計・施工区分 | 工種 | 想定される事故の種類 | 想定される事故の要因 | 危険作業の種類 | 設計変更の有無 | |
| 施工 | コンクリートダム堤体工 | 交通事故 | 人的要因 | 作業環境 | 有: (無) | |

改善の概要: 接近車両有無のセンサー及び回転灯の設置

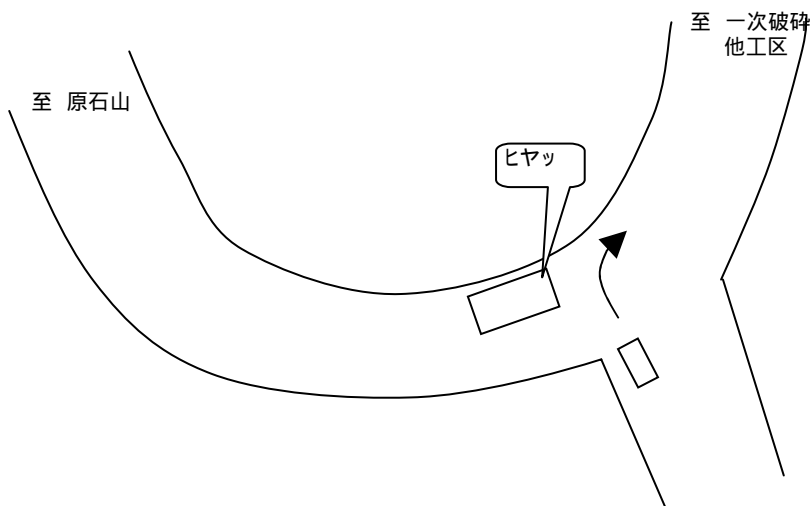
写真箇所の交差点は、原石山と一次破碎設備の間にあり、原石や土石を積み込んだ重ダンプトラックが往來している。また、この交差点の先には、残土盛土場や他工区の工事が行われているところがあり、工事関係車両が頻りに通行する。さらにこの交差点は、原石山側がカーブになっており、接近車両が目視により確認できない。そのため、交差点に進入した車や、重ダンプトラックの運転手からの「ヒヤリハット」が数点寄せられた。そのため、原石山方面にセンサーを設置し、交差点には接近車両を知らせる回転灯を設置した。

特許の有無
有: (無)

メリット:
 ・目視で確認できなくても、車両が接近していることが判断できる
 ・確認不足による「ヒヤリハット」がなくなった
 ・スポット入場の車にも、説明が容易である

デメリット:
 ・設備費用の原価の発生

改善前 (略図または写真)



改善後 (略図または写真)



センサー



回転灯を設置した交差点